

待機児童数等の状況

1 待機児童数

市町村名	R3. 4. 1実績 (A) (※)	R2. 4. 1実績 (B) (※)	前年との比較 (A - B)	新計画見込 (R3. 4. 1時点) (C)	計画見込との 比較 (A - C)
千葉市	0	0	0	0	0
船橋市	12	197	▲ 185	0	12
柏市	0	0	0	0	0
銚子市	0	0	0	0	0
市川市	0	64	▲ 64	0	0
館山市	0	0	0	0	0
木更津市	90	62	28	0	90
松戸市	0	0	0	0	0
野田市	0	1	▲ 1	0	0
茂原市	0	4	▲ 4	0	0
成田市	16	35	▲ 19	0	16
佐倉市	0	11	▲ 11	0	0
東金市	1	14	▲ 13	0	1
旭市	0	0	0	0	0
習志野市	24	55	▲ 31	0	24
勝浦市	0	0	0	0	0
市原市	1	32	▲ 31	0	1
流山市	0	26	▲ 26	0	0
八千代市	48	31	17	0	48
我孫子市	0	0	0	0	0
鴨川市	0	0	0	0	0
鎌ヶ谷市	0	0	0	0	0
君津市	85	11	74	0	85
富津市	0	0	0	0	0
浦安市	0	34	▲ 34	0	0
四街道市	0	74	▲ 74	0	0
袖ヶ浦市	46	60	▲ 14	0	46
八街市	0	30	▲ 30	0	0
印西市	76	20	56	0	76
白井市	1	2	▲ 1	0	1
富里市	18	56	▲ 38	0	18
南房総市	0	0	0	0	0
匝瑳市	0	0	0	0	0
香取市	0	0	0	0	0
山武市	0	0	0	0	0
いすみ市	0	0	0	0	0
大網白里市	10	10	0	0	10
酒々井町	0	0	0	0	0
栄町	0	0	0	0	0
神崎町	0	0	0	0	0
多古町	0	0	0	0	0
東庄町	0	4	▲ 4	0	0
九十九里町	0	0	0	0	0
芝山町	0	0	0	0	0
横芝光町	0	0	0	0	0
一宮町	0	0	0	0	0
睦沢町	0	0	0	0	0
長生村	0	0	0	0	0
白子町	0	0	0	0	0
長柄町	0	0	0	0	0
長南町	0	0	0	0	0
大多喜町	0	0	0	0	0
御宿町	0	0	0	0	0
鋸南町	0	0	0	0	0
計	428	833	▲ 405	0	428

(※) 厚生労働省「令和3年4月1日待機児童数調査」より

待機児童の要因等について

● 待機児童の現状について（総括）

令和2年4月の待機児童数833人と比べ待機児童数は405人減少し、428人となりました（目標はR3. 4. 1待機児童数0）。昨年度と比較すると、待機児童数は減少しましたが、依然として高い状況であると認識しています。

想定を上回るニーズの掘り起こしや、人口の流入増などにより、新たな需要が発生し、待機児童の解消に至っていないと思われます。

● 待機児童が多い市の要因について

木更津市及び君津市は、特定の地域にニーズが集中しており、当該地域の受け皿が不足していることが原因でした。また、八千代市は、子育て世代の転入等により保育所利用ニーズが高まり、特定地域において受入枠以上の申し込み数となったことが原因でした。さらに、印西市は、千葉ニュータウン地区の宅地分譲等の開発により、急激な人口流入が子ども・子育て支援事業計画の見込みを上回り、受け皿が不足したことが原因でした。

● 待機児童数が大幅に改善された市の取組等について

船橋市では、令和2年度197人から令和3年度12人と大きく減少しました。令和2年度は、1歳の児童数、利用率が見込みよりも大きく伸びたことで待機児童が増加しました。令和3年度は、各年齢で申込数の伸びが鈍化、あるいは減少したことと、需要の多い地域において受け皿確保を継続したこと等により、待機児童が減少したとのことでした。

市川市、四街道市が待機児童を解消できた理由は、保育ニーズを分析し、施設整備を進めたことで、待機児童解消につながったとのことでした。

2 施設数

施設類型		R3.4.1実績 (A)(※1)	R2.4.1実績 (B)	前年との比較 (A-B)	計画見込 (R3.4.1時点) (C)(※3)	計画見込との 比較 (A-C)
認可保育所		1,154	1,103	51	1,157	▲ 3
認定 こども園	幼保連携型	114	108	6	117	▲ 3
	保育所型	18	18	0	19	▲ 1
	幼稚園型	78	71	7	78	0
	地方裁量型	6	5	1	3	3
	小計	216	202	14	217	▲ 1
地域型 保育事業	小規模	397	349	48	427	▲ 30
	家庭的	31	32	▲ 1	32	▲ 1
	事業所内	24	24	0	30	▲ 6
	居宅訪問型	2	0	2	0	2
	小計	454	405	49	489	▲ 35
合計		1,824	1,710	114	1,863	▲ 39
(※2)認可外保育施設等		195	195	0		

(※1)厚生労働省「令和3年4月1日待機児童数調査」より

(※2)認可外保育施設については、認可化移行運営費支援を受給する認可外保育施設、地方単独事業のいわゆる保育室、企業主導型保育事業、幼稚園における長時間預かり保育事業等の計

(※3)「千葉県子ども・子育て支援プラン2020」における、令和3年度中の整備計画数

3 利用定員数(2・3号定員)

施設類型		R3.4.1実績 (A)(※1)	R2.4.1実績 (B)	前年との比較 (A-B)	計画見込 (R3.4.1時点) (C)(※3)	計画見込との 比較 (A-C)
認可保育所		104,793	101,602	3,191	107,195	▲ 2,402
認定 こども園	幼保連携型	12,580	12,124	456	12,826	▲ 246
	保育所型	1,825	1,796	29	1,832	▲ 7
	幼稚園型	3,157	2,533	624	2,794	363
	地方裁量型	219	259	▲ 40	179	40
	小計	17,781	16,712	1,069	17,631	150
地域型 保育事業	小規模	6,790	5,933	857	7,374	▲ 584
	家庭的	132	135	▲ 3	135	▲ 3
	事業所内	584	569	15	333	251
	居宅訪問型	3	0	3	0	3
	小計	7,509	6,637	872	7,842	▲ 333
合計		130,083	124,951	5,132	132,668	▲ 2,585
(※2)認可外保育施設等		6,487	5,808	679		

(※1)(※2)(※3)・・・2施設数と同じ

4 利用定員数(1号定員)

施設類型		R3.4.1実績 (A)(※)	R2.4.1実績 (B)	前年との比較 (A-B)	計画見込 (R3.4.1時点) (C)	計画見込との 比較 (A-C)
認定 こども園	幼保連携型	6,043	5,849	194	6,636	▲ 593
	保育所型	233	238	▲ 5	262	▲ 29
	幼稚園型	9,231	8,561	670	9,880	▲ 649
	地方裁量型	303	272	31	47	256
合計		15,810	14,920	890	16,825	▲ 1,015

(※)県子育て支援課「令和3年度保育状況調査」より

● 施設数について

計画値と実績値を比較すると、実績値が計画値を下回っています。主たる理由は次のとおりとなります。

- ・各市町村で施設整備を実施するために公募を行っても事業者の手上げがなかった。
- ・工期の遅れにより施設が令和3年3月31日までに完成せず、予定通り開所できなかった。
- ・地権者との交渉が難航した等。

● 利用定員数（1・2・3号定員）について

実績値と計画値を比較すると、実績値が計画値を下回っています。

これは、上記「4 施設数について」で述べた理由に加え、待機児童の多い都市部で適切な不動産（土地又は建物）が見つからなかったため、適切な規模の保育所等を設置できなかったことが考えられます。